

## 5 マツタケ山環境整備技術実証事業について

### (1) 目的

愛媛県のマツタケ生産量は、昭和25年度562 t あったものが56年度1.8 t 平成元年度1.0 t と激減している。しかし、近年、以前マツタケ山であったマツクイムシ被害跡地のマツ2次林が生長し、マツタケの発生に適する林齢となり、一部のマツ林においてはマツタケの発生が見られる状態となっている。このため、このようなマツ林について広島県等で実施されているマツタケ山の環境整備を行いマツタケを増産する技術（マツタケ山環境整備技術）を参考にして実証調査を行い、愛媛県にあった技術指導指針を作成してマツタケ増産技術の普及を図る。

### (2) 事業内容

- ア 実施場所 宇和島指導区 津島町山財地区
- イ 事業期間 平成3～4年度（2箇年間）  
1年目－新しく導入する技術の実証調査等  
2年目－1年目の調査結果に基づき技術指針・実証林等を作成し、普及指導を図る。
- ウ 事業実施者 津島町林研グループ  
宇和島林業課林業改良指導員  
林業試験場南予分場長  
森林林業課林業専門技術員

### エ 事業内容

- 1年目実証調査
  - ①マツ林現況調査
    - (ア) 地域のマツ林を1/25,000図におとし、それらのマツ林についてマツタケ山適地判定調査表により現地調査や聞き取り調査を行いマツタケの発生可能地域を選定する。
    - (イ) 地元での聞き取り調査により発生地域の特定を図る。
  - ②先進地調査
    - 広島県の先進地を林業研究グループ等の林業後継者と林業改良指導員等で調査し、環境整備の資料を収集する。
  - ③マツタケ山環境整備技術指針作成のための基礎調査
    - 先進地の技術を参考にして、地域にあった技術指針を作成するため
    - (ア) マツタケが発生しているマツ山の環境調査
    - (イ) マツタケ山環境整備作業の工程調査
    - (ウ) マツタケ等のキノコの発生調査（3年目以降も林業研究グループ等の林業

後継者と林業改良指導員で継続調査を行う)

④実証林の設置

先進地調査及び他県の技術等を参考にして実証林を作る。

(0.5ha 2 か所・対照区)

● 2年目技術の普及

①実証林の設置

1年目に引き続き実証林を作る。

②技術指針の作成

1年目、2年目の調査結果等を参考にして技術指針を作成する。

③講習会の開催

実証林及び技術指針等を利用して講習会を開催する。

(3) 実施の概要

平成3年度の実施概要と平成4年度の調査は参考資料2・3のとおりである。

## 林業後継者新技術実証普及事業実施概要

区 分	実 施 概 要	
課 題 名	マツタケ山環境整備技術の実証（事業期間平成3－4年度）	
実 施 箇 所	北宇和郡津島町大字山財下組丙24	
参 加 者	実施担当者	森林林業課林業専門技術員田代善二、林業試験場南予分場長藤原孝光、宇和島地方局林業課主席改良指導員森貞敬一、林業改良指導員稲田哲治
	参加グループ	津島町林業研究グループ
	協 力 者	酒井武雄（津島町林業研究グループ員、マツタケ山所有者）
事 業 概 要	事業の目的	近年、以前マツタケ山であったマツクイムシ被害跡地のマツ2次林が成長しマツタケの発生に適する林齢となり、一部のマツ林においてはマツタケの発生が見られる状況となっている。このため、このようなマツ林について広島県等で実施されているマツタケ山の環境整備を行いマツタケを増産する技術を参考にして実証調査を行い、愛媛県にあった技術指針を作成して、マツタケ増産技術の普及指導を図る。
	実施経過及び実施結果	<p>1 実施経過 愛媛県のマツタケ生産量は、昭和25年度562t あったものが56年度1.8t 平成元年度1.0t 激減している。このような状況のなか、松山市の周辺等のマツクイムシ被害跡地のマツ2次林が成長し、マツタケの発生する林況となってきた。このため、これからマツタケの発生が期待できる津島町において林究グループの協力を得て、この事業を別添実施要領にもとづき実施することとした。</p> <p>2 実施結果</p> <p>①マツ林の現況調査 津島町のマツ林を1/25,0000図におとし、それらのマツ林についてマツタケ山適地判定調査による現地調査や聞き取りにより発生可能地域を選定した。</p> <p>②先進地調査 10月31日－11月1日に広島県世羅郡甲山町と世羅町のマツタケ山環境整備林及び三次市の林業試験場を訪問しマツタケ山環境整備技術について調査した。</p> <p>③マツタケ山環境整備技術指針作成のための基礎調査 津島町大字山財のマツ林約2haに2箇所の標準地を設定し、1年目と2年目の環境整備作業の工程調査及びキノコの発生調査等を実施した。</p> <p>④実証林の設置 平成3年度に実施した先進地調査及び他県の技術等を参考にして、上記のマツ林に2箇所の実証林を設定し、環境整備のための作業を実施した。</p> <p>⑤マツタケ山環境整備技術指針の作成 広島県で作成した「まつたけ山のつくり方」とマツタケ山環境整備技術指針作成のための基礎調査の結果をもとにして、技術指針を作成した。</p> <p>⑥研修会の開催 研修会を県下5ヶ所で開催した。</p>
	地域普及への期待	今後、各地域において、以前マツタケ山であったマツクイムシの被害跡地のマツ林が成長し、マツタケの発生が期待できるマツ林が増加している。しかし、このまま放置すれば期待するほどのマツタケの生産は望めない。このような状況において、愛媛県にあったマツタケ山環境整備技術の技術指針を作成したので、その技術の普及によりマツタケの増産が望まれる。
その他参考事項	今後は、平成4年度に引き続き実施林について3年目の作業を実施するとともに作業工程等を調査し、マツタケ山環境整備技術指針の改善を行うとともに発生調査を行う。実施は、津島町林業研究グループと宇和島地方局林業課林業改良指導員が協力して行う。	